

シラバス作成のためのガイドライン

大阪ハイテクノロジー専門学校 教務部

各学科における教育課程では、教育目標を具現化するための詳細な方法を明示することが重要であり、個々の授業科目は教育課程に明確に位置づけられることが強く求められています。

このガイドラインは大阪ハイテクノロジー専門学校で開講される全ての授業について、シラバスに記載することが望ましい項目及びその記載方法について示すものです。

シラバスは、学生の学習を支援するためのアウトラインであり、学習への動機付けとなります。そのため、学生が受講するにあたって何をしなければならないのかが理解できるようにする必要があります。また、授業担当教員が他の授業科目の内容を理解し、授業内容をより深める必要もあります。

大学院大学を保有し、文部科学省管轄になった本法人に関しても、情報公開の視点から、HP において Web 公開いたします。趣旨ご理解のうえ、作成して下さい。

なお、本ガイドラインに示す項目のいくつかは、授業担当教員の考え方のみによって記述されるものでなく、各学科における教育目標（学生便覧に記載）との整合性を保つことが重要であります。

（１）シラバスの項目

１ 科目の基本情報等

学科、科目区分、授業の方法、科目名、必修選択の別・授業時数（単位数）

対象学年、担当教員、教室名、学期及び曜時限、実務経験とその関連資格

２ 授業科目における学習内容

３ 成績評価の方法と基準

４ 使用教材（教科書）及び参考図書

５ 授業外における学習方法

６ 履修に当たっての留意点

７ 授業の方法及び内容等

授業の方法、授業を通じての到達目標、各コマにおける授業予定、

使用機材、授業以外での準備学習の具体的な内容

（２）記載内容・記載方法

・学科

授業開講学科名を記載します。

・科目区分

基礎分野・専門基礎分野・専門分野の別を記載します。

・授業の方法

講義・実習・演習・講義実習・講義演習・実習演習等を記載します。

・科目名

授業科目名を記載します。

・必修選択の別・授業時数（単位数）

必修・選択の別及び単位数を記載します。

・対象学年

対象学生の学年を記載します。

・担当教員

担当教員名を記載します。

- ・実務経験とその関連資格

※実務経験のある講師による授業が必要となっています（全単位数の10%以上）
各学科責任者より、御相談のあった講師の先生は記載をお願いします。

科目担当に値する実務経験と資格を記載します。

（例）〇〇病院に△△士として勤務。主業務は□□、××、☆☆などを行っていた（る）。
（科目との関連性を示す）

※シラバスは、HP上で全て公開することになります。
ご了承の程よろしくお願いします。

- ・教室名

校舎名・教室名を記載します。

- ・学期及び曜時限

学期及び曜時限を記載します。

教室名及び曜時限に関して、未定の場合は空欄にしておき、決定時点で修正いたします。

- ・授業科目における学習内容

各学科の教育目標と、この授業科目の関連を記載します。また、この授業を履修し、どのような知識・技能・能力が修得できるかを記載します。学生が、「〇〇ができるようになる」とイメージできるようにする必要があります。

- ・成績評価の方法と基準

学期末テスト、レポート課題、実技試験等を記載。また、小テスト、中間テスト等の有無も併せて記載する。なお、評価基準は測定可能なものとし、学生から採点根拠を照会された場合、明確に回答できるようにする必要があります。

- ・使用教材（教科書）及び参考図書

教科書を使用するのかどうかを記載し、使用する場合は教科書名を記載する。また、参考文献として、学生が授業外で学習するのに望ましい図書等があれば併せて記載する。

- ・授業外における学習方法・授業以外での準備学習の具体的な内容

単位の実質化を図るにあたり、1単位の修得に必要な学習時間は30時間（講義の場合は受講15時間と予習復習に15時間）となっている。ここでは、授業外における学習方法・内容について記載する（従来の形式では、予習・復習に関わる内容に近似しています）。

（例）指定した教科書を事前に読んでおくこと。

授業終了時に示す課題を実施しておくこと。

毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと

- ・履修に当たっての留意点

受講生に望むことや、科目における教員の意気込みを記載する。

- ・授業を通じての到達目標

毎回の授業の到達目標を記載する

（例）〇〇について学び、その構造を理解し、説明できるようになる

〇〇について考察することにより、△△できるようになる

- ・各コマにおける授業予定

授業の内容を理解できるように記載する。

- ・使用教材

特にAV機器に関しては、数に限りがあり、準備のため事前に記載しておく。